

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2021-104413 (P2021-104413A)

【公開日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2021-032

【出願番号】特願 2021-70718 (P2021-70718)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 2 日 (2021.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、
前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、
前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、

前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機において、

前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別識別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、

前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第 1 態様で表示可能な第 1 態様表示手段と、

前記標示手段を前記第 1 態様と異なる第 2 態様で表示されるように設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、

前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、

前記動的表示において、特定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、

所定の絵柄の表示態様を、前記特定演出の開始前に所定の第 1 絵柄態様から、該第 1 絵柄態様と異なる第 2 絵柄態様に変化可能な絵柄態様変化手段と、

前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、

前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によって表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、

前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行

手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第 1 態様で表示する第 1 態様手段と、

前記特定演出の実行後に前記非表示状態手段によって非表示状態となっている前記絵柄を再び表示する場合に、前記特定演出が実行される場合に前記非表示状態手段によって非表示状態となった前記絵柄と同じ態様で表示する再表示手段と、

前記標示手段が前記第 2 態様で表示された場合に、前記特定演出の実行中に前記標示手段を前記第 1 態様で表示しない実行中維持手段と、を備え、

前記標示手段は、

少なくとも 2 以上のタイミングのいずれかで変化可能であり、

前記第 1 態様手段は、

前記標示手段が第 1 のタイミングで変化した場合も第 2 のタイミングで変化した場合も、前記特定演出の実行後の特定タイミングにおいて前記標示手段を前記第 1 態様で表示する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記始動情報は、

複数種類の判定情報を含む情報である

ことを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別識別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第 1 態様で表示可能な第 1 態様表示手段と、前記標示手段を前記第 1 態様と異なる第 2 態様で表示されるように設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、前記動的表示において、特定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、所定の絵柄の表示態様を、前記特定演出の開始前に所定の第 1 絵柄態様から、該第 1 絵柄態様と異なる第 2 絵柄態様に变化可能な絵柄態様変化手段と、前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によって表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第 1 態様で表示する第 1 態様手段と、前記特定演出の実行後に前記非表示状態手段によって非表示状態となっている前記絵柄を再び表示する場合に、前記特定演出が実行される場合に前記非表示状態手段によ

て非表示状態となった前記絵柄と同じ態様で表示する再表示手段と、前記標示手段が前記第 2 態様で表示された場合に、前記特定演出の実行中に前記標示手段を前記第 1 態様で表示しない実行中維持手段と、を備え、前記標示手段は、少なくとも 2 以上のタイミングのいずれかで変化可能であり、前記第 1 態様手段は、前記標示手段が第 1 のタイミングで変化した場合も第 2 のタイミングで変化した場合も、前記特定演出の実行後の特定タイミングにおいて前記標示手段を前記第 1 態様で表示する前記標示手段は、少なくとも 2 以上のタイミングのいずれかで変化可能であり、前記第 1 態様手段は、前記標示手段が第 1 のタイミングで変化した場合も第 2 のタイミングで変化した場合も、前記特定演出の実行後の特定タイミングにおいて前記標示手段を前記第 1 態様で表示する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 記載の遊技機によれば、所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別識別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第 1 態様で表示可能な第 1 態様表示手段と、前記標示手段を前記第 1 態様と異なる第 2 態様で表示されるように設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、前記動的表示において、特定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、所定の絵柄の表示態様を、前記特定演出の開始前に所定の第 1 絵柄態様から、該第 1 絵柄態様と異なる第 2 絵柄態様に变化可能な絵柄態様変化手段と、前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によって表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第 2 態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第 1 態様で表示する第 1 態様手段と、前記特定演出の実行後に前記非表示状態手段によって非表示状態となっている前記絵柄を再び表示する場合に、前記特定演出が実行される場合に前記非表示状態手段によって非表示状態となった前記絵柄と同じ態様で表示する再表示手段と、前記標示手段が前記第 2 態様で表示された場合に、前記特定演出の実行中に前記標示手段を前記第 1 態様で表示しない実行中維持手段と、を備え、前記標示手段は、少なくとも 2 以上のタイミングのいずれかで変化可能であり、前記第 1 態様手段は、前記標示手段が第 1 のタイミングで変化した場合も第 2 のタイミングで変化した場合も、前記特定演出の実行後の特定タイミングにおいて前記標示手段を前記第 1 態様で表示する前記標示手段は、少なくとも 2 以上のタイミングのいずれかで変化可能であり、前記第 1 態様手段は、前記標示手段が第 1 のタイミングで変化した場合も第 2 のタイミングで変化した場合も、前記特定演出の実行後の特定タイミングにおいて前記標示手段を前記第 1 態様で表示する。これにより、遊技者が不信感を感じるこ

がない快適な遊技を提供することができる、という効果がある。